



イブキレイジンソウ キンボウゲ科



イブキコゴメグサ ゴマノハグサ科



コイブキアザミ キク科



イブキタンポポ キク科

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義 7

伊吹山の概要

- ◆ お花畑の成立要因①：自然条件
…石灰岩地で乾燥しがち。積雪量大。



8

伊吹山の概要

- ◆ お花畑の成立要因②：採草の慣習
…江戸中期から、肥料や飼料、薬草とするための採草。



伊吹百草湯



切りもぐさ

(昭和30年代の写真)

9

伊吹山の概要 ー現在の状況ー

- ◆ 採草の慣習が廃れたことによる植生の遷移



←アカソ群落の繁茂



低木の繁茂→

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義

10

伊吹山の概要 ー現在の状況ー

◆ 利用者の踏みつけ等による裸地化・外来植物の侵入



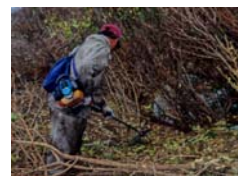
↑ 外来植物の侵入

← 踏みつけによる山頂部の裸地

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義 ¹¹

これまでの保全活動の取組

- ◆ 昭和47年～昭和53年
地元町村と民間団体などからなる「伊吹山を守る会」が結成され、植生調査を実施
- ◆ 昭和57年～平成19年
「伊吹山を守る会」と旧伊吹町(現:米原市)が一部区域で自然復元実験を試行実施
- ◆ 平成14年
旧伊吹町が植生調査を実施
- ◆ 平成19年
県内外の伊吹山の愛好家からなる「伊吹山もりびとの会」が結成され、外来植物等の除去作業や植物調査を実施
「伊吹山を守る会」顧問及び「伊吹山もりびとの会」からなる伊吹山検討会を設置
- ◆ 平成20年度
「伊吹山自然再生協議会」を設置



コクサギ群落の刈り取り



進入防止柵・看板の設置

¹²

自然再生事業の概要



◆ 実施体制

伊吹山自然再生協議会
〈構成員〉 保全活動団体、地権者、
関係企業、学識経験者、
関係行政機関など

◆ 目標

山頂周辺および登山道周辺のお花畑等を、長期にわたって安定して維持されていた昭和40年代の状況に再生を図る。

◆ 事業内容

- ・利用者による踏みつけ対策
- ・植生遷移対策
- ・外来植物侵入対策
- ・監視パトロール
- ・人材育成、啓発事業 など

13

自然再生事業の概要

- ◆ 踏みつけ等による被害対策
立入禁止看板・進入防止柵の設置



立入禁止看板



進入防止柵

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義

14

自然再生事業の概要

- ◆ 植生遷移対策
繁茂した植物の刈り取り



繁茂したチシマザサ群落(昭和57年)

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義 ¹⁵

自然再生事業の概要

- ◆ 植生遷移対策
繁茂した植物の刈り取り



チシマザサの刈り取り(昭和57年)

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義 ¹⁶

自然再生事業の概要

- ◆ 植生遷移対策
繁茂した植物の刈り取り



刈り取り直後(昭和57年)

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義

17

自然再生事業の概要

- ◆ 植生遷移対策
繁茂した植物の刈り取り



写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義

18

自然再生事業の概要

- ◆ 植生遷移対策
繁茂した植物の刈り取り



復元後の開花

写真提供：伊吹山を守る会顧問 村瀬忠義 ¹⁹